

2 男女平等について

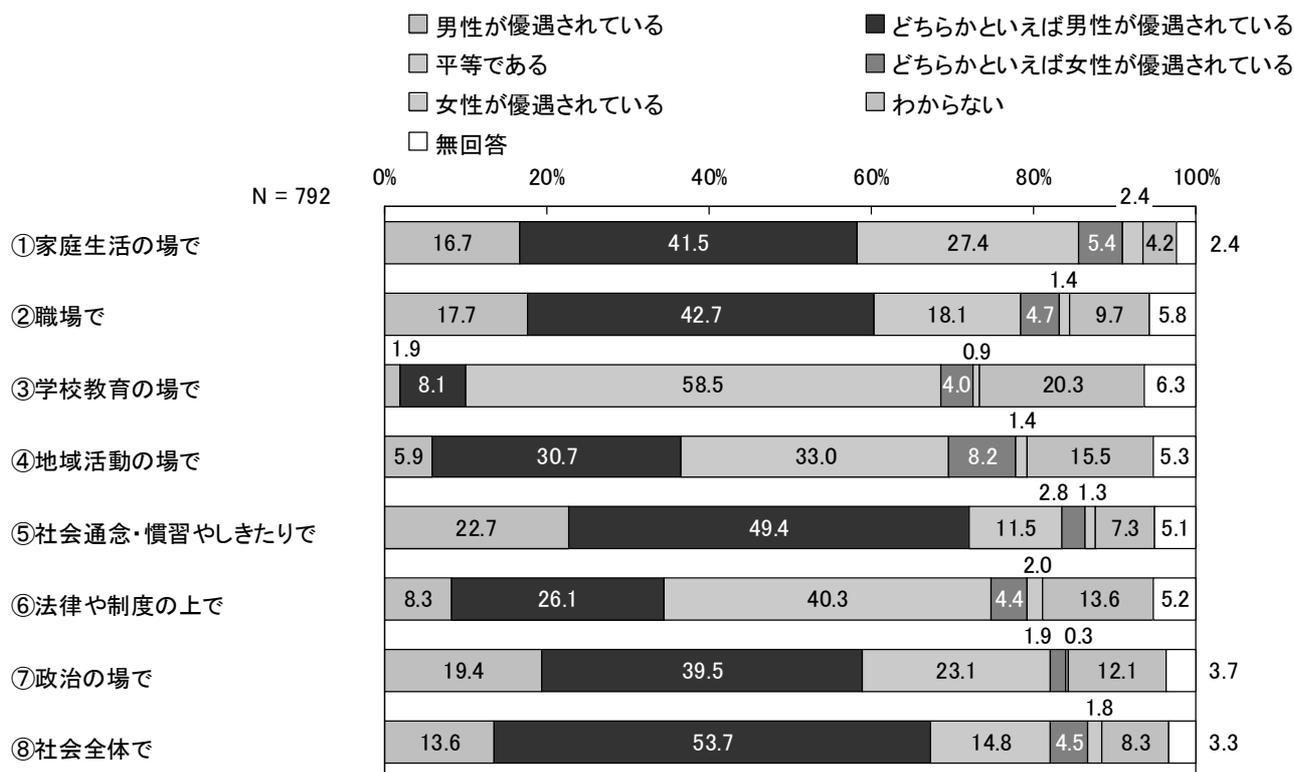
(1) 分野別の平等感

問8 男女平等の問題は、社会や生活のあらゆる場にかかわっています。次の各分野において、男女は平等だと思いますか。(各項目ごと1つに○印)

分野別の平等感（全体）

社会や生活の各分野における男女の平等感については、①家庭生活の場で、②職場で、⑤社会通念・慣習やしきたりで、⑦政治の場で、⑧社会全体で「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた男性が優遇されていると感じている人の割合が高くなっています。特に⑤社会通念・慣習やしきたりでは7割を超えており、男女平等ではないと感じている人の割合が高いことがわかります。

一方、③学校教育の場では「平等である」の割合が高く、約6割となっています。



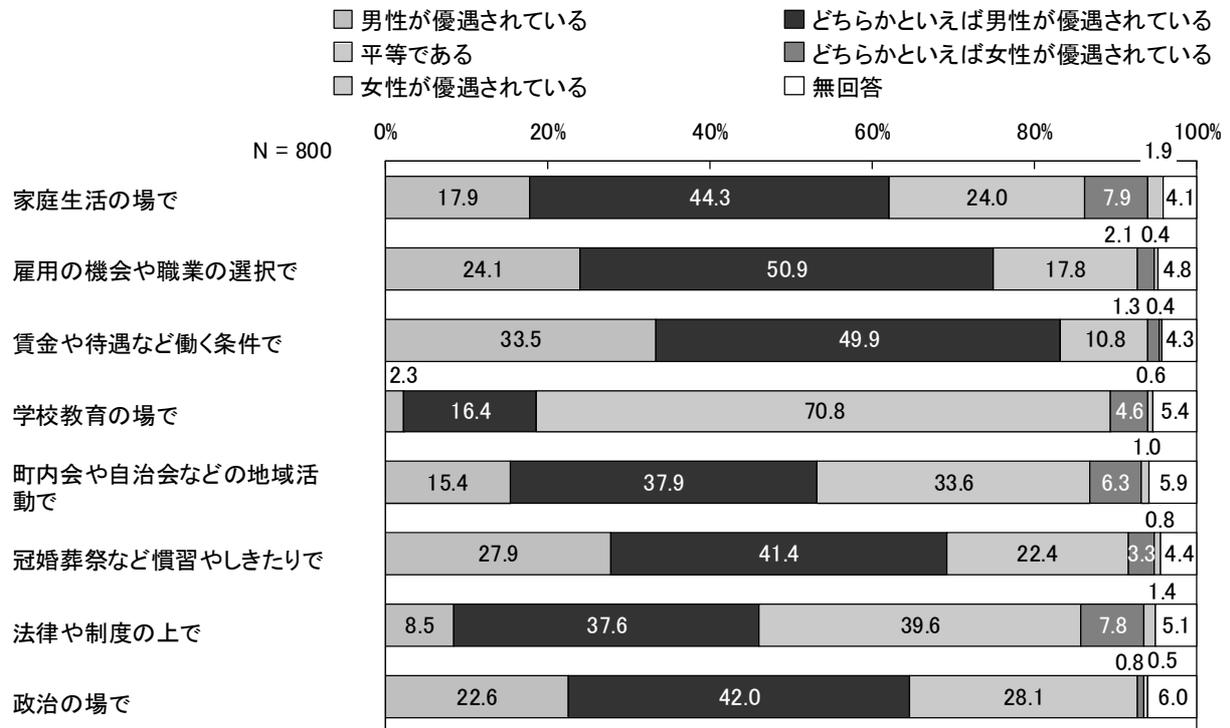
分野別の平等感【平成17年度結果・国の世論調査結果との比較】

平成17年度調査結果と比較すると、「社会通念・慣習やしきたり」を除いて類似するすべての項目で男性が優遇されていると感じている人の割合が低くなっており、徐々に男女間での不平等感が払拭されてきていることがうかがえます。

国の世論調査結果と比較すると、国に比べ本市は「家庭生活の場で」男性が優遇されていると感じている人の割合が高く、「法律や制度の上で」「政治の場で」男性が優遇されていると感じている人の割合が低くなっています。

参 考

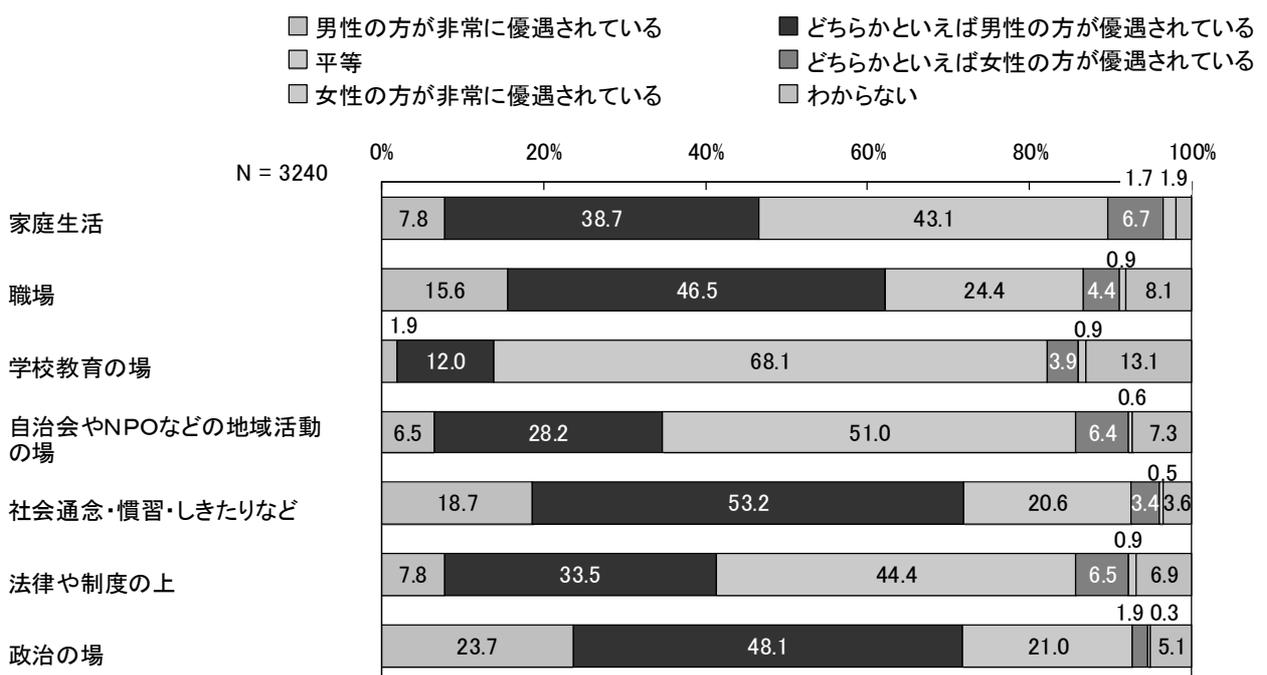
分野別の平等感【平成 17 年度調査結果】



※平成 17 年度調査の回答項目と内容が類似しているものを比較しています。ただし、平成 17 年度調査の回答項目には「社会全体で」に類似する項目はありません。

参 考

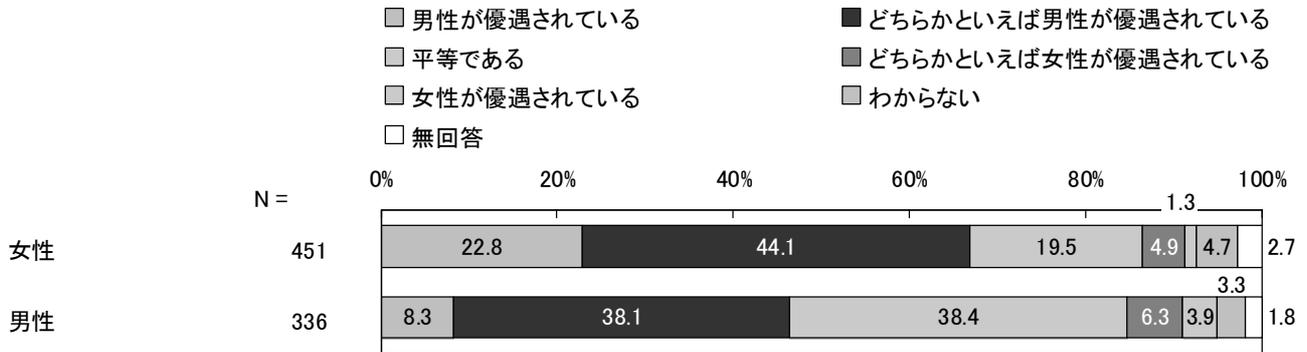
分野別の平等感【国（男女共同参画社会に関する世論調査 平成 21 年）】



分野別の平等感（性別）

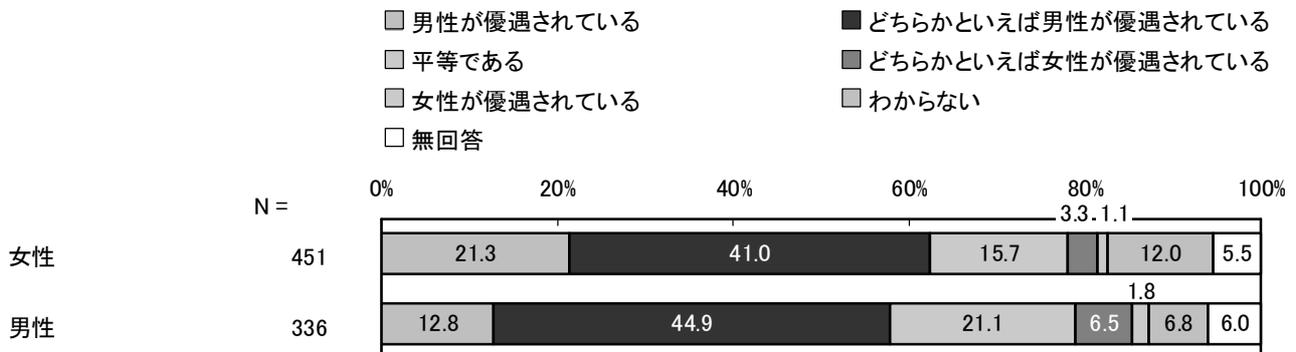
①家庭生活の場

家庭生活における男女の平等感について、性別で比較すると、女性で男性が優遇されていると感じている人の割合が高く、約7割となっています。



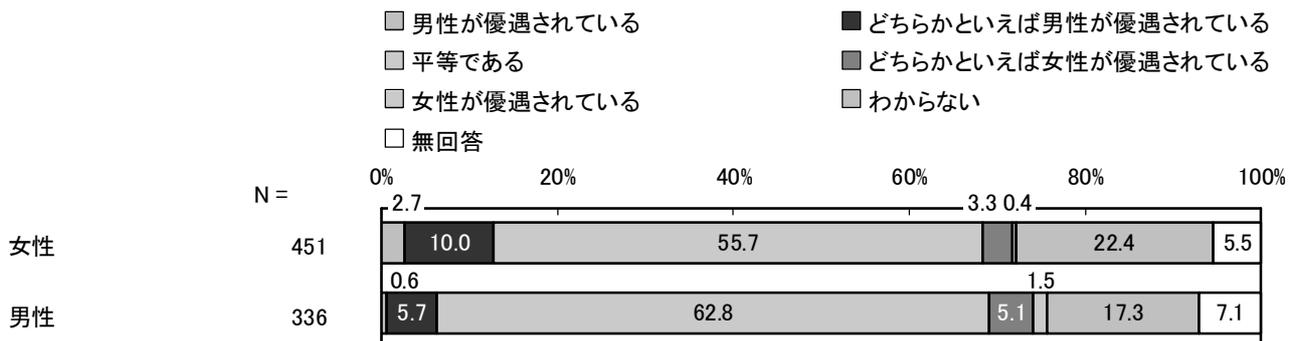
②職場

職場における男女の平等感について、性別で比較すると、女性で男性が優遇されていると感じている人の割合が高くなっています。



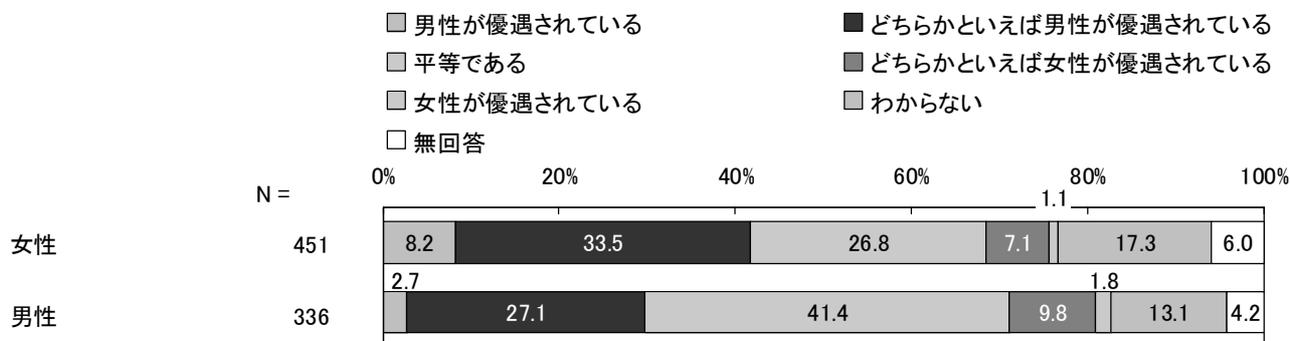
③学校教育の場

学校教育における男女の平等感について、「平等である」の割合が高くなっていますが、性別で比較すると、女性で男性が優遇されていると感じている人の割合が高く、約1割となっています。



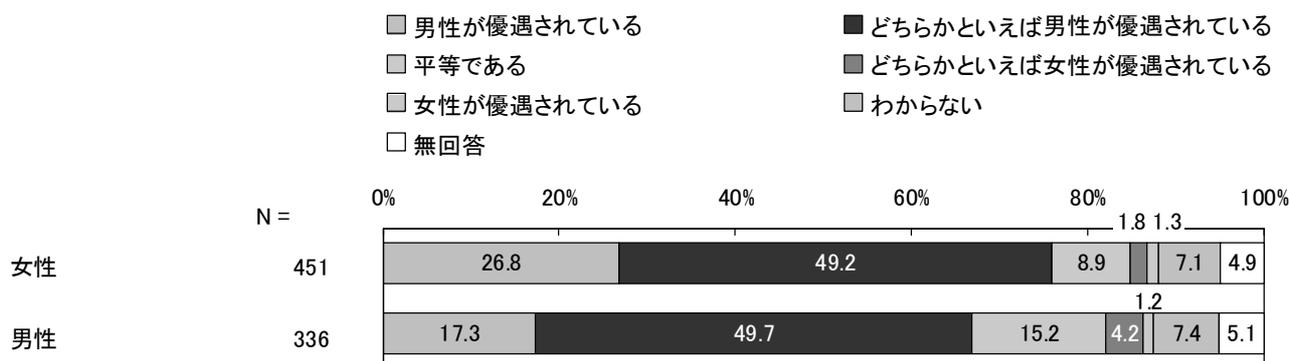
④地域活動の場

地域活動における男女の平等感について、性別で比較すると、女性で男性が優遇されていると感じている人の割合が高くなっています。



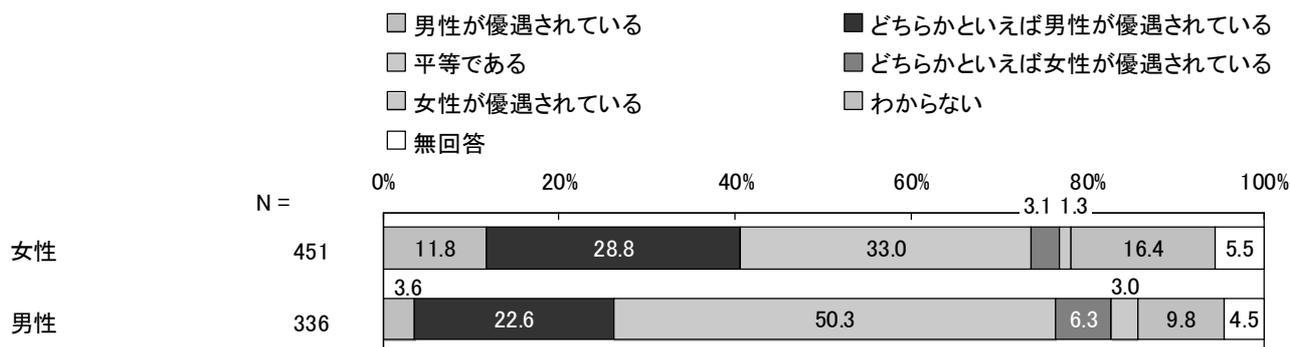
⑤社会通念・慣習やしきたり

社会通念・慣習やしきたりにおける男女の平等感について、性別で比較すると、女性で男性が優遇されていると感じている人の割合が高く、約8割となっています。



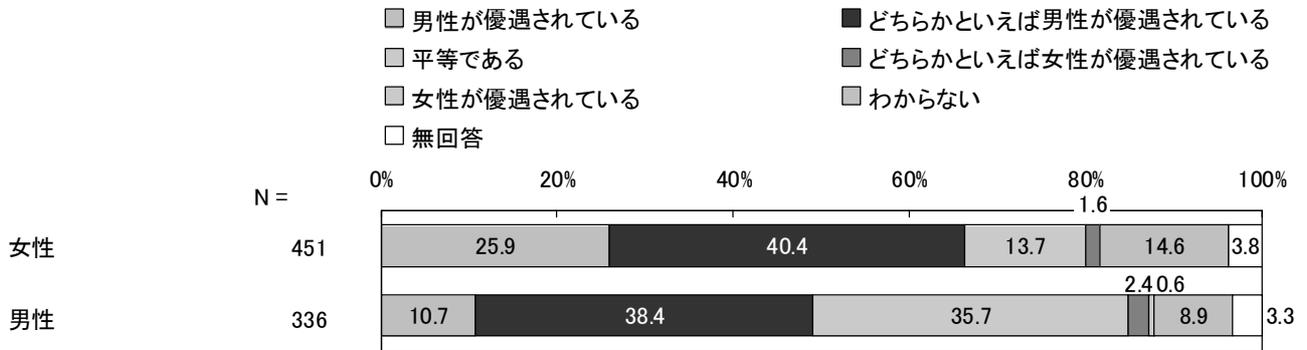
⑥法律や制度の上

法律や制度における男女の平等感について、性別で比較すると、女性で男性が優遇されていると感じている人の割合が高くなっています。一方、男性で「平等である」の割合が高く、約5割となっています。



⑦政治の場

政治における男女の平等感について、性別で比較すると、女性で男性が優遇されていると感じている人の割合が高く、約7割となっています。



⑧社会全体

社会全体における男女の平等感について、性別で比較すると、女性で男性が優遇されていると感じている人の割合が高く、約7割となっています。

